



50460-XMLD-KOSO ODYSSEY「PERFORMANCE DAMPER®」

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

⚠ ご注意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に、適合車種と型式の確認を行って下さい。
3. [適合車種] ODYSSEY e : HEV
[適合型式] RC4-130
4. 本製品の改造、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。
5. 本製品の車両への取り付け、純正部品の取り外し・取り付けは、サービスマニュアルと本書に従って、自動車整備工場やホンダディーラーで行って下さい。
6. ボルト及びナットの締め付けには、寸法のあった工具を使用して確実に行って下さい。
7. ブラケット、パフォーマンスダンパーの取り付けにインパクトレンチは使用しないで下さい。
8. パフォーマンスダンパーの取り付け作業の際、ダンパーのロッド部を伸縮や回転させたり、ブーツ部を持ったり、ずらしたりしないで下さい。
また、ボルト位置が合わない場合は、無理に取り付けを行わないで下さい。
9. 「PERFORMANCE DAMPER/パフォーマンスダンパー」はヤマハ発動機株式会社の登録商標です。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 国内販売課

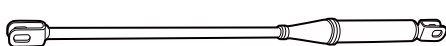
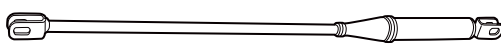
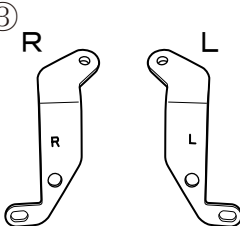
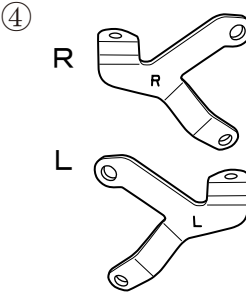
【営業時間10:00～17:00（土日・祝日・弊社指定定休日を除く）】

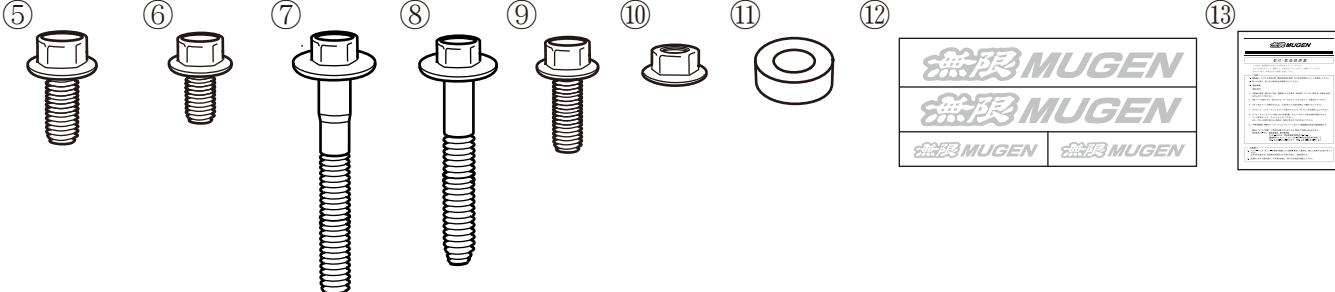
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

お客様へ

1. パフォーマンスダンパーが事故や接触により破損・変形した場合は、直ちに交換するか取り外して下さい。
そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 定期的にボルト・ナット類の緩み、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。

【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.	
①	パフォーマンス ダンパー (FRONT)	1	①  L = 760mm
②	パフォーマンス ダンパー (REAR)	1	②  L = 850mm
③	フロントブラケット (R/L)	各 1	③ 
④	リアブラケット (R/L)	各 1	④ 
⑤	フランジボルト a (M12×30)	2	
⑥	フランジボルト b (M10×22)	2	
⑦	フランジボルト c (M14×90)	2	
⑧	フランジボルト d (M12×75)	2	
⑨	フランジボルト e (M10×35)	4	
⑩	フランジナット (M10)	6	
⑪	カラー (t6.0)	4	
⑫	ステッカー	1	
⑬	取付・取扱説明書	1	



【必要工具】

- ・ドライバー＋ ・クリップリムーバー ・スパナ、メガネレンチ 14mm
- ・ボックスレンチ 12mm、14mm、17mm ・トルクレンチ ・エアソー
- ・イソプロピルアルコール ・ウェス

■ステッカーの貼り付け

- ①パフォーマンス ダンパー (FRONT)、②パフォーマンス ダンパー (REAR) のシリンダー部に下図要領で⑫ステッカー (大) を貼り付ける。
その際、貼り付け面を脱脂洗浄すること。

【使用部品】
⑫ (1)

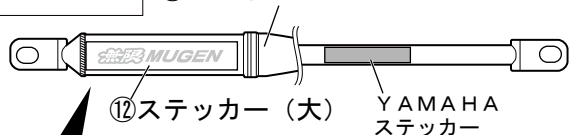


ステッカー

※⑫ステッカー (小) は
ご自由にご使用下さい。

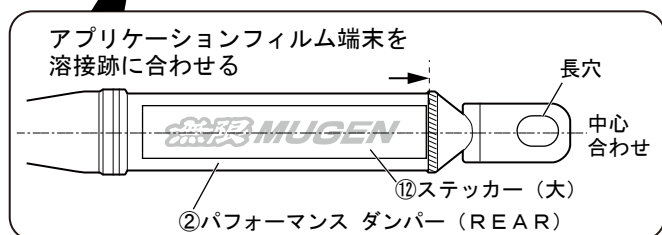
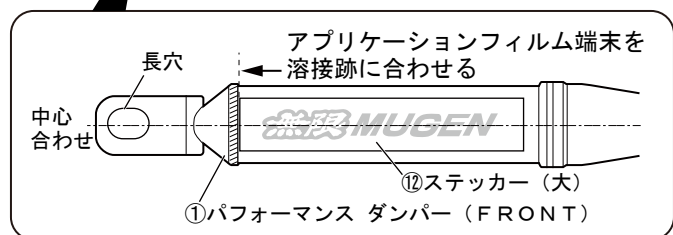
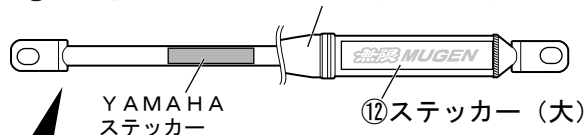
【FRONT】

①パフォーマンス ダンパー (FRONT)



【REAR】

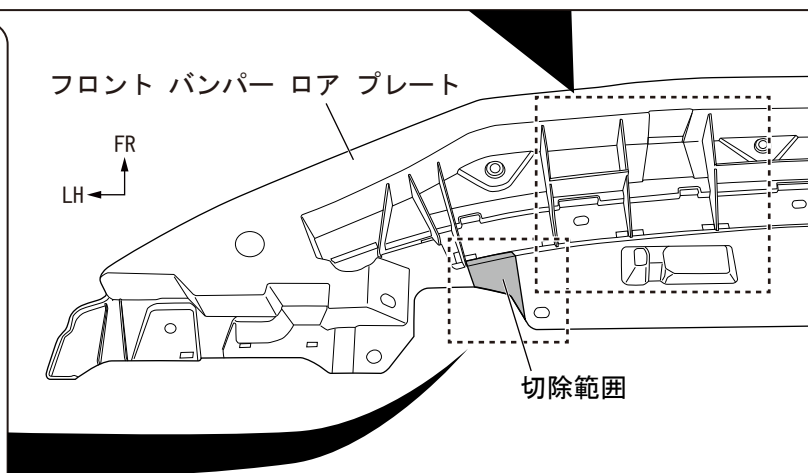
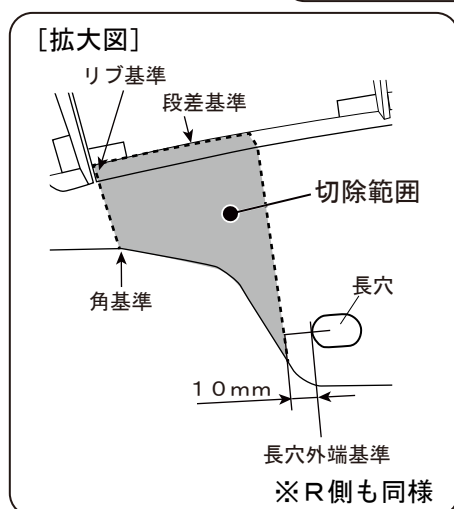
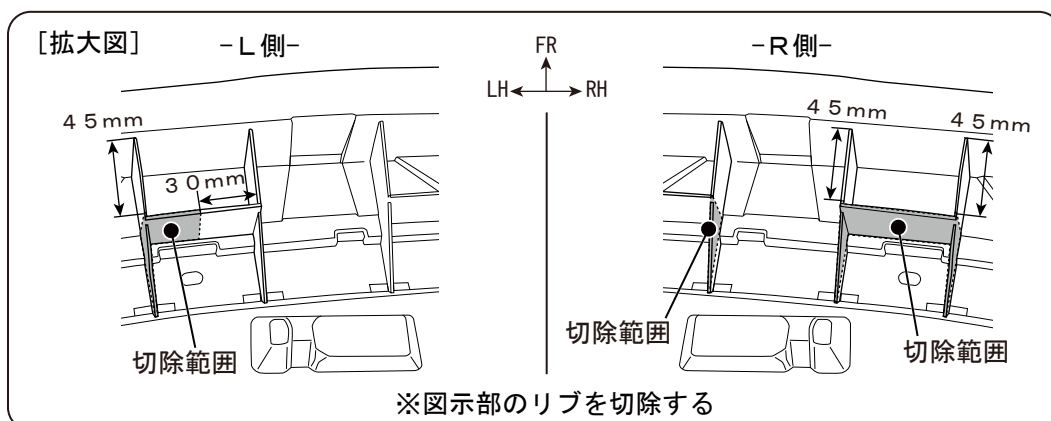
②パフォーマンス ダンパー (REAR)



I. フロント側の取付準備

- 《注意》 ・ ボルト・ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
- ・ 素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・ 潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること。

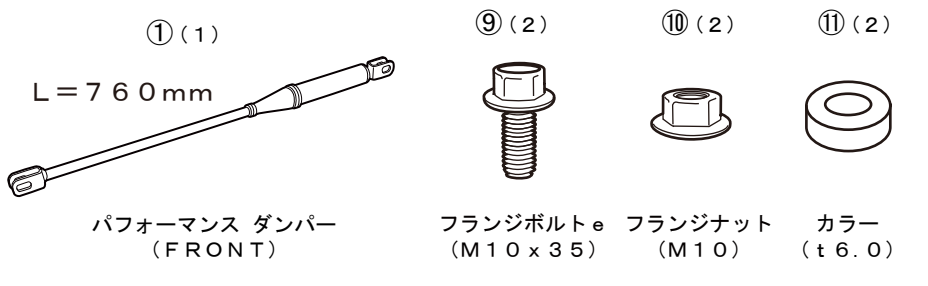
1. 車両からフロント バンパー ロア プレートを取り外す。（サービスマニュアル参照）。
2. フロント バンパー ロア プレートを図示寸法で計測し、切除加工する。
切除後、切除部周囲のバリを除去すること。



2. ①パフォーマンスダンパー(FRONT)を③フロントブラケット(R/L)に⑨フランジボルトe、⑩フランジナットで仮締めする。

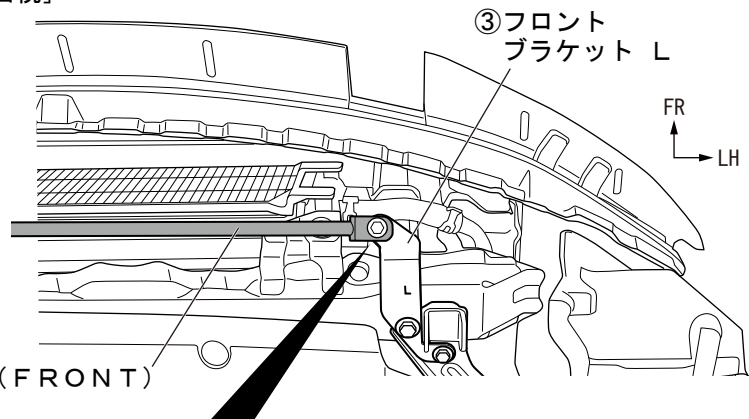
その際、⑪カラーを「断面図」の位置になるように入れる。

[使用部品]

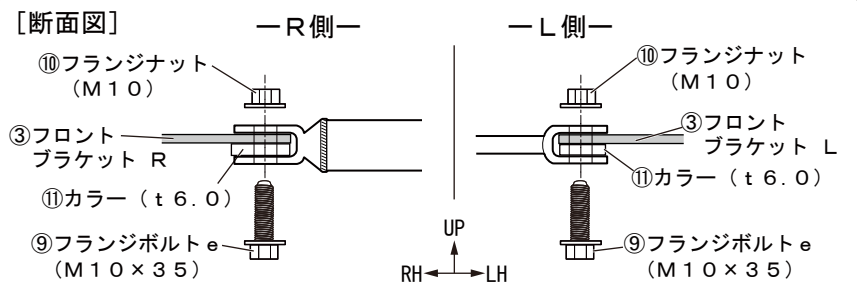


[下面視]

注意 インパクトレンチ
使用禁止



[断面図]



※ R側も同様

3. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認し、車両を1G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にして、Ⅱ-1で仮締めした⑤フランジボルトa、⑥フランジボルトb、⑩フランジナット、Ⅱ-2で仮締めした⑨フランジボルトe、⑩フランジナットを下記指定トルクで本締めする。

注意 車両(4輪)を水平な場所で1G接地状態で締め付け作業をすること。

⑤フランジボルト a (M12 x 30)
締め付けトルク : 74N・m

⑥フランジボルト b (M10 x 22)
⑩フランジナット (M10)
締め付けトルク : 44N・m

⑨フランジボルト e (M10 x 35)
⑩フランジナット (M10)
締め付けトルク : 40N・m

4. フロントバンパーロアプレートを復元する。(サービスマニュアル参照)

※フロントバンパーロアプレートを復元した際、③フロントブラケット(R/L)と干渉する場合は、加工部を切り増しすること。

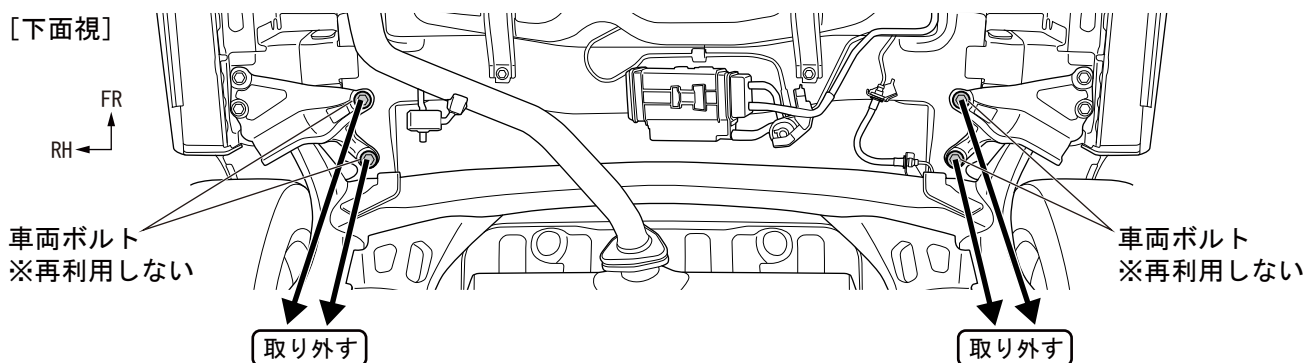
Ⅲ. リア側の取付準備

- 《注意》
- ・ ボルト・ナット類が錆び付いて緩みにくい場合は、無理な力を加えずスプレー式の潤滑油等で緩みやすくしてから作業を行うこと。
 - ・ 素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 - ・ 作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
 - ・ 潤滑油を使用した場合は、作業後油分を完全に除去すること

1. 車両下面の図示車両ボルトを左右各2ヶ所取り外す。

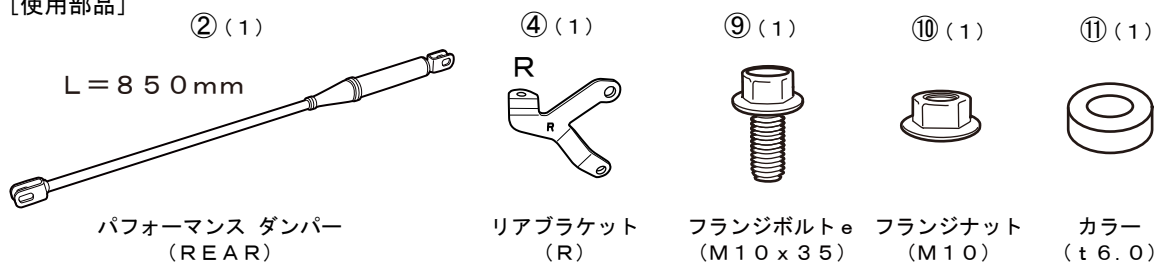
※取り外した車両ボルトは再利用しない。

[下面視]



2. ②パフォーマンス ダンパー (REAR) と④リアブラケット Rを⑨フランジボルト e、⑩フランジナットで仮締めする。
 その際、⑪カラーを [断面図] の位置になるように入れる。

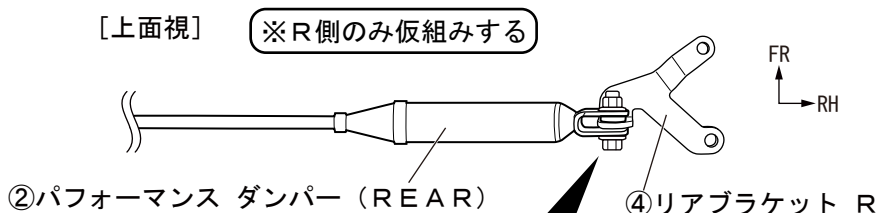
[使用部品]



注 意 インパクトレンチ使用禁止

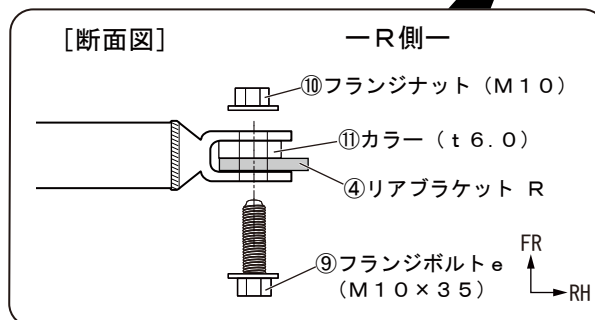
[上面視]

※R側のみ仮組みする



[断面図]

— R側 —



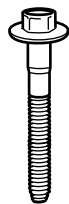
IV. リア側の取付

- 《注意》 ・素手での作業は火傷やケガの原因となるため必ず軍手等を着用し作業を行うこと。
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。

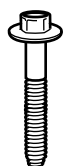
1. ②パフォーマンス ダンパー (R E A R) を車両下面各部の間を通すように仮あてし④リアブラケット R を⑦フランジボルト c、⑧フランジボルト d で仮締めする。

[使用部品]

⑦ (1)



⑧ (1)



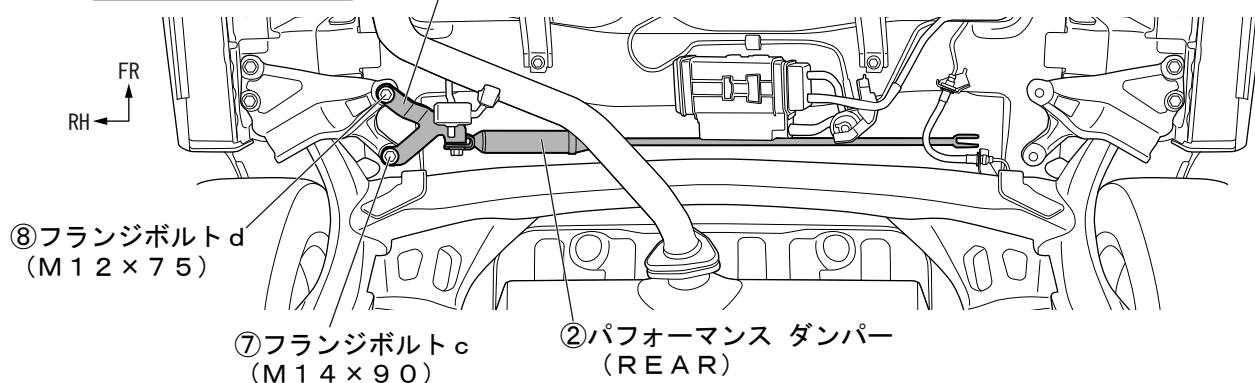
フランジボルト c フランジボルト d
(M14 x 90) (M12 x 75)

注 意

インパクトレンチ
使用禁止

※R側のみ仮組みする

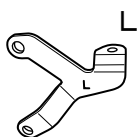
④リアブラケット R



2. ②パフォーマンス ダンパー (R E A R) を④リアブラケット L に⑨フランジボルト e、⑩フランジナットで仮締めする。
 その際、⑪カラーを [断面図] の位置になるように入れる。

[使用部品]

④ (1)



⑨ (1)



リアブラケット
(L)

フランジボルト e
(M10 x 35)

⑩ (1)



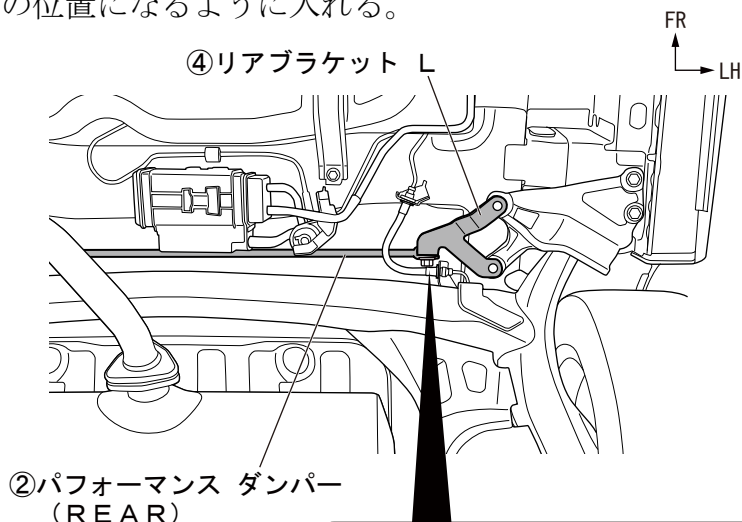
フランジナット
(M10)

⑪ (1)



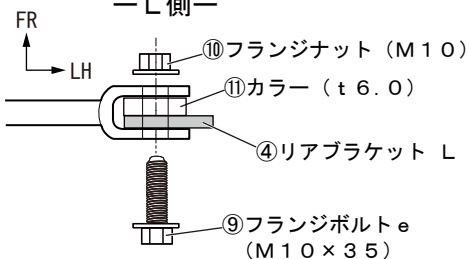
カラー
(t 6.0)

④リアブラケット L



[断面図]

— L 側 —



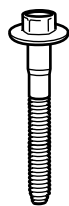
注 意

インパクトレンチ使用禁止

3. 車両下面の図示部に④リアブラケット Lを⑦フランジボルト c、⑧フランジボルト dで仮締めする。

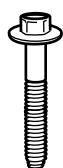
[使用部品]

⑦ (1)

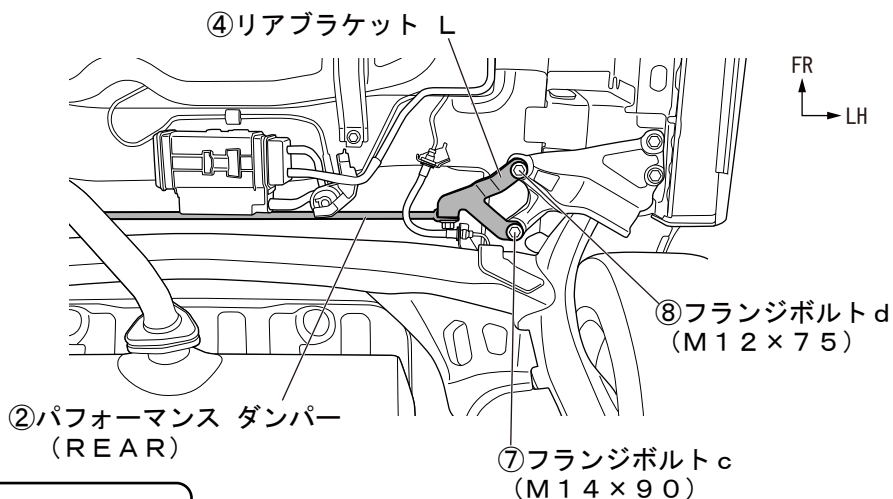


フランジボルト c
(M14 x 90)

⑧ (1)



フランジボルト d
(M12 x 75)



注 意 インパクトレンチ使用禁止

4. 取り付け位置や各部に干渉がないことを確認し、車両を1 G接地状態(タイヤ4輪が接地した状態)にして、Ⅲ-2、Ⅳ-2で仮締めした⑨フランジボルト e、⑩フランジナット、Ⅳ-1、Ⅳ-3で仮締めした⑦フランジボルト c、⑧フランジボルト dを下記指定トルクで本締めする。

注 意 車両(4輪)を水平な場所で1 G接地状態で締め付け作業をすること。

⑨フランジボルト e (M10 x 35)

⑩フランジナット (M10)

締め付けトルク : 40N・m

⑦フランジボルト c (M14 x 90)

締め付けトルク : 93N・m

⑧フランジボルト d (M12 x 75)

締め付けトルク : 93N・m

5. 各部の取付状態が完全か確認する。